

第10回 「市民と議員の懇談会」

報告書

H28.2.9・10(市内5会場)



奥州市議会市政調査会

目 次

	ページ
1 実施要領	1～3
2 開催状況	4
3 各班報告書	
第1班報告・概要	5～12
第2班報告・概要	13～16
第3班報告・概要	17～24
第4班報告・概要	25～32
第5班報告・概要	33～37
4 写真	38～40
5 開催チラシ	41～42

平成 27 年度市民と議員の懇談会実施要領

1 趣 旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 実施主体

奥州市議会市政調査会

「第 10 回市民と議員の懇談会」

3 内 容

(1) 報告事項

- ① 12 月議会の報告
- ② 懇談テーマ：「地域自治区について」
- ③ 議会に対する意見要望、地域における諸課題等

4 開催月日、会場

月 日	開会時間	班	会 場
2 月 9 日 (火)	14:00 ～	1	江刺総合支所 1 階 多目的ホール
		2	衣川保健福祉センター 多目的ホール
		3	水沢地区センター 第 1・2 会議室
2 月 10 日 (水)	16:00	4	胆沢総合支所 3 階 大会議室
		5	前沢総合支所 4 階 401 大会議室

5 班編成

別紙のとおり

6 周知方法

- (1) 市議会だより、ホームページに掲載し周知する。
- (2) 地区センター及び地区振興会長を通じて、地区内各種団体に呼びかけてもらう。
- (3) 各議員は参加の声をけを行う。

7 今後の進め方

- (1) 平成 28 年 2 月 2 日（火）に市政調査会を開催。
 - ① 当日の進め方（12 月定例会の報告、テーマについて話題提起）
 - ② 班ごとの打合せ（役割分担確定）
[班長、進行係、説明係、記録係、受付係]
- (2) 「市民と議員の懇談会」開催 [2/9～10]
- (3) 班ごとの取りまとめ [期限 2/15（月）]
・各班は報告書（懇談会概要）を作成し、議会事務局へ提出
- (4) 「市民と議員の懇談会」報告会を平成 28 年 2 月 17 日（水）に開催。

平成 27 年度「市民と議員の懇談会」班構成

①常任委員会：総務 7人、教育厚生 6人、産業経済 7人、建設環境 6人

②出身区：水沢区9人、江刺区6人、前沢区4人、胆沢区6人、衣川区1人

③会派：奥和会9人、市民クラブ5人、日本共産党4人、新世会3人、公明党2人、無会派3人

【常任委員会、(出身区)、(会派)】

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班
総務(水沢)(新世) 菊池利美	総務(江刺)(市民) 野富男	教育厚生(前沢)(奥和) 鈴木雅彦	総務(江刺)(奥和) 及川佐	教育厚生(江刺)(共産) 千葉敦
産業経済(前沢)(公明) 飯坂一也	建設環境(水沢)(奥和) 千葉正文	産業経済(水沢)(奥和) 菅原由和	教育厚生(水沢)(新世) 佐藤洋	産業経済(前沢)(新世) 菅原圭子
教育厚生(胆沢)(市民) 高橋政一	教育厚生(水沢)(公明) 阿部加代子	総務(胆沢)(共産) 今野裕文	総務(江刺)(市民) 佐藤郁夫	建設環境(水沢)(市民) 千葉悟郎
総務(江刺)(奥和) 中西秀俊	教育厚生(胆沢)(奥和) 小野寺隆夫	産業経済(江刺)(市民) 佐藤邦夫	産業経済(胆沢)(無) 加藤清	建設環境(胆沢)(奥和) 藤田慶則
建設環境(水沢)(共産) 及川善男	産業経済(衣川)(共産) 菅原明	建設環境(水沢)(無) 内田和良	建設環境(水沢)(奥和) 中澤俊明	総務(胆沢)(奥和) 渡辺忠
	産業経済(前沢)(無) 小野寺重			
事務局 吉田悦子	事務局 菊池敏彦	事務局 佐藤教雄	事務局 菅原幸一	事務局 高橋和美

市民と議員の懇談会開催状況

年月日	事業名	備考		
第10回「市民と議員の懇談会」〈5会場〉 テーマ：地域自治区について		男性	女性	計
2月9日(火) 14:00～16:00	江刺総合支所1階 多目的ホール	84	3	87
	衣川保健福祉センター 多目的ホール	19	5	24
	水沢地区センター 第1・2会議室	49	4	53
2月10日(水) 14:00～16:00	胆沢総合支所3階 大会議室	24	1	25
	前沢総合支所4階 401大会議室	91	13	104
合 計		267	26	293
第9回 (H27.11) 5会場 (消防団各方面隊対象)		146	0	146
第8回 (H27.11) 10会場		132	9	141
第7回 (H26.11) 20会場		258	31	289
第6回 (H25.11) 5会場 (女性団体対象)		0	94	94
第5回 (H25.6) 10会場		136	7	143
第4回 (H24.7～8) 30会場		399	55	454
第3回 (H24.2) 10会場		188	18	206
第2回 (H23.7) 10会場		167	18	185
第1回 (H22.10～11) 10会場		116	18	134

第 10 回「市民と議員の懇談会」第 1 班報告書

1 開催月日	平成 28 年 2 月 9 日 (火) 午後 2 時から午後 3 時 50 分		
2 会場	江刺総合支所多目的ホール		
3 参加者数	87 名 (内訳 男性 84 名、女性 3 名) [議員・職員 2 名]		
4 出席議員	班長	及川 善男	議員
	進行係	中西 秀俊	議員
	説明係	高橋 政一	議員
	記録係	菊池 利美	議員
	受付係	菊池 利美	議員
5 欠席議員		議員	議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

・参加者が多かったので、多くの方が発言できるよう、報告の説明部分は前回より短めにまとめて、懇談の時間が十分に取れるように配慮し、予定時間通りの全体進行ができた。

・参加者がほぼ 60～70 歳代以上の男性となっており、若年層や女性なども参加できるような工夫が必要と思われる。

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答(説明)	処理(調査、回答等)
1	奥州市になって10年。合併前と後で良くなったのか、悪くなったのか、率直に答えてほしい。	それぞれに回答	
2	江刺の優秀な人材が本庁に行き、江刺以外から江刺に来ている。江刺のことがわかる人材がいなくなった。 江刺の行事に、他の区から、食事が用意されている。地元の食材を使うべきだ。マラソンもなくなる。 水沢中心だけで、物事を進めれば、ますます悪くなる。 区は残してほしい。	(区は残してほしいという要望)	
3	今までの地域協議会であれば、無くてよい。1年参加してきたが、議論の内容は、合併時のルール外の事業であり、諮問機関である。 新たな、それぞれの区の問題を協議するのであれば、存続は必要と思う。 今まで通りであれば、何の意味もない。	今までの地域協議会は、新市建設計画に基づいた諮問機関としての役割であった。今後については、地域自治区を延長する方法と、地方自治法に基づいて地域自治区を設置する方法がある。この場合の地域協議会は、それぞれの区の課題を市長に建議できる、提言できる性格を持つ。後者の形であれば、良いのではないか。	
4	1年や2年の延長ではなく、地方自治法に基づき、永久に残すようにと思う。地域のことは地域でとの考えから、地域協議会は必要である。		
5	議員それぞれに考えが違う。一つになって、市長と相対してほしい。バラバラでは、いつまでもまとまらない。	一つにまとまるのは、なかなか難しいと思うが、今回の懇談会の内容を受け、17日の市政調査会において、議員間で意見交換を行う。	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要 第 1 班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
6	<p>江刺の元議員として、合併協議会を3回傍聴したが、内容が全くなかった。</p> <p>地域自治区の10年で廃止も知らなかった。</p> <p>市民の望むものは何か、を聞いてもばらばらだと思う。</p> <p>一番の望みは、今の生活が維持されることだと思う。</p> <p>将来につけを残さないために、市職員の削減などを行っているが、困っているのは、市民だ。</p> <p>合併にあたっては、マイナス面も住民に伝えるべきだったと思う。我慢しなければならないこともあることを言わなければならなかった。</p> <p>議員は、奥州市の概要はわかっていると思う。将来はこうなるという、奥州市の進むべき方向性を示すべきだ。それが議員の責任である。</p> <p>市民の声といっても、市民は情報量が少ない。</p> <p>市民の声だと言って、議員は、都合のいいところばかり切りとってはならない。</p> <p>私たちは、あなた方に期待をしている。</p>		

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	<p>地域自治区を廃止しなければ、一つになれないというのはおかしい。江刺町になって60年。岩谷堂・米里・玉里などそれぞれの地域の特色・特性は厳然とあるなかで、江刺は一つにまとまってきた。</p> <p>それを奥州市にあてはめればどうか。</p> <p>今のやり方では、水沢中心になってしまう。それぞれの特徴を残しながら、一つにまとまるようにしていくのが良いと思う。地域自治区は残すべきと強く要望したい。</p>		
8	<p>議論の結論はいつ頃に出すのか。</p> <p>地域協議会は新市建設計画に基づくもの。</p> <p>これからは地域の問題課題を具体的にわかる人たちである地域協議会は残し、議員につなげるような取組みをすべき。強く要望したい。</p>	<p>3月議会中に結論を出したい、というのが議会の現状である。</p>	
9	<p>地域協議会は廃止すべき。1年、2年延ばしてもどうということはない。</p> <p>住民の様々な意見を反映させる場、住民と行政が協働でまちづくりをして行く場などを作ることが大事。住民自治に基づいた場を作ること。そういう場が無いことが課題。</p>		

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要 第 1 班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
10	<p>市議会のスピードは遅い。苦言を呈したい。地域自治区についての議論は、もっと早い時期にすべき。</p> <p>地方自治法の本旨は二元代表制。選挙で選ばれた市長と市議会が丁々発止で政策を決めていく。今の地域協議会がどこに位置付けられるか。位置づけられるところがない。今の合併協議書があるから存在する。役割も限定されている。その役割を超えて色々なことを言い始めたらどうなるか。</p> <p>昨年11月30日、前沢から三つの決議案が出された。一つは地域協議会を残してほしい。二つ目は地域における事業の選択権を我々に。三つめ、10年前に決めた予算の配分枠をそのままに。</p> <p>さらに1月20日。恒常的な、地方自治法の本旨に基づく地域協議会にしてほしいとの意見書が出された。これらは大変に問題だ。一つは明らかな越権行為である。二つ目、これが一番の問題だが、地域エゴがはっきりと現れている。地域エゴの表明である。</p> <p>このような地域協議会はいらない。一体感を損なう有害なものになってしまっている。</p> <p>これから私たちが立ち向かうべき課題として、財政再建・少子高齢化・TPPに対して市の産業をどうしていくか、地域を超えた課題に取り組んでいかなければならない。</p>	<p>議会としては、平成24年から一般質問で取り上げている。議論すべきとして指摘してきたが、市長が取り上げたのは後になってからだった。</p> <p>少なくとも3年以上前からの議論でなければ市民合意は得られない。</p> <p>貴重なご意見として承りたい。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
11	<p>人口減少への打開策は。 議員の定数も減らしていかなければと思う。</p> <p>大変な時代になっていく。市長は将来を見据えた政策をしたいと考えていると思う。議員がまちまちではどうなのか。市民の代表らしくと思う。</p>	<p>労働人口が6割位になる。働き手が少なくなることが問題である。結婚する、子どもを産みやすい、育てやすい市にと考える。 議員の数は減らすべきと思う。</p> <p>経済を良くする、活性化することも重要。6次産業化、地域おこし協力隊・外国人観光客の誘致なども有効である。 子育て世代が介護することも増えてきている。 複合的な問題である。 これから地方版総合戦略も出てくる。具体的に、見えるようにしていかなければならない。 議員の数については、広い市であり、30の地区センターがそれぞれに問題課題がある。簡単に減らすべきではないと思う。</p>	
12	<p>地方自治法に基づく地域協議会の設置もこれからの議論の中にあるようだが、市の基本設計を変更する話である。選挙も経ずしてなぜ市議会で議論されるのか。</p>	<p>このことについては、議論しているということではない。市長は1年延長の案を出してくると思われる。議会の意思として、確認しているのは議員の任期中に結論を、ということである。 地方自治法に基づく地域協議会については、議論する可能性があるということである。 市の根幹に関わる重要な課題であることは、共通の認識である。</p>	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要 第 1 班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 6

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
13	<p>議論はどこまでも平行線。どこかで落としてもらわないと困るのは、犠牲になるのは市民である。</p> <p>30の地区センターと直接取引をするということについて。28年度から指定管理を受託するのは16で約半数である。あとは準備ができていない、どういうものかわからない、という状態である。受託するところもまずやってみて、それ次第だなという状況。</p> <p>30地区の振興会の個々の状況を市長も議会も把握していない。ぜひ30地区の振興会長を集めて議員との話し合いを持ってほしい。</p> <p>指定管理をする、しないは指定管理が大きく関わってくる。次長がいるところ、いないところがある。そういう中で、どのように市とやり取りをするのか。</p> <p>11月に市長にも話していて、12月に持ちたいということだったが、実現していない。市長がやらないのであれば議会として行ってほしい。</p> <p>懇談会を各区の中央で行っているが、地区の人たちの声を聞いてほしい。こんなに悲鳴を上げている</p> <p>地区協議会とのやり取りを2,3年やってみて、どうなのか。地域自治区についての結論はそれからでもいいのではないか。</p>	<p>30地区の振興会長と議員との話し合いについては、17日の報告会で報告するので、議会としてどのようにやれるか検討させていただきたい。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第1班 平成28年2月9日(火)

会場 江刺支所1階多目的ホール No. 7

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
14	議員定数を増やすべき。この面積であるから。報酬はそのまま。空白の10年を作った責任がある。これから死に物狂いで働いてほしい。		

第 1 0 回 「市民と議員の懇談会」 第 2 班報告書

1. 開催月日	平成28年2月9日（火） 午後2時から午後4時10分	
2. 会場	衣川保健福祉センター	
3. 参加者数	24名（男19名、女5名）	
4. 出席議員	班長 千葉 正文議員 進行係 菅原 明議員 説明係 阿部加代子議員 記録係 小野寺隆夫議員、廣野 富男議員 受付係 小野寺 重議員、廣野 富男議員	
5. 欠席議員	なし	

6. 報告に対する質疑及び懇談の概要（別紙）

7. 反省点、次回の課題等

- (1) 地域自治区は残してほしいという意見（3名）が出されたが、自治区よりも、むしろ総合支所体制の縮小に不安を持っているという感触だった。総合支所の権限の見直し、退職職員の再雇用など、総合支所を縮小しない道を考えてほしいという意見もあった。
- (2) 旧市町村名は残るのか？といった質問が出るなど、未だに、地域自治区と総合支所再編についての理解が十分でないと思われた。
- (3) 昨今の議会運営を見て、議会が当局のチェック（監視）ばかりで、本来の議決の行使をおろそかにしているのではないかと指摘する発言もあった。

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第2班 平成28年2月9日(火) 会場 衣川保健福祉センター No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>「衣川」は平安時代に70首もの歌が読まれた地域。自治区がなくなることにより「衣川」が歴史から消える。衣川を後世に残すためにも廃止は困る。</p> <p>支所の仕事量が見えないので、支所再編への意見を求められても出せない。支所の仕事量を定量化してほしい。</p>	<p>総合支所の再編については、当面延長となり、現状のまま進むということなので、今後、また話題になったときには、サービス低下ならないよう市長に話していく。</p>	回答
2	<p>合併協議の中で（期限）が切れることはないとの話で「10年」に落ち着いた。（10年後に廃止との前提で議論はしていない）28年3月31日で自動的に切れるという言い方は止めてほしい。</p> <p>借金の考え方を改めてほしい。日銀がマイナス金利を発表した。これからはもっと借金をして良いのではないか？</p> <p>合併特例債の用途は地域協議会で協議してきた。衣川は合併特例債より有利な辺地債、江刺は過疎債で事業をしてきたので、合併特例債は使用していない。追加分の使い方は地域協議会で説明、議論をすべきだ。</p> <p>支所を減らし財政縮減を求めているようだが、本庁職員の残業が多い原因をどう捉えているのか？今やコンビニに委託できる窓口業務はあるはず。マイナンバー制度も始まったことから、委託を含め検討すべきだし、退職者の活用も考えるべきだ。</p>	<p>合併協議による期限3月31日で廃止すると昨年市長が方針を示した。が市民の中には、廃止して当然という人と、唐突な方針と言う人に分かれ、議員を含め議論が分かれている。議員ももっと以前から議論すべきであったと反省。期間延期の発議案を提出し任期中まで延期すると要望した。</p> <p>事業推進上、それぞれ有利な起債を使い事業を進めてきている。</p> <p>それによって余っている合併特例債を地域協議会で決めていくのではなくて、オール奥州としてバランスよく使っていくのが良いと考える。</p> <p>いろいろ意見があると思うが、私は地域協議会で審議していくべきと考えている。</p> <p>本庁に権限が集中しているので残業が増えるのは当然の結果だ。分庁方式等も考えられるが、今後十分に検討する必要がある。退職者の活用が有益かどうかは疑問がある。専門職なら使えるが、一般事務職では使えないと思う。</p>	回答

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要 第2班 平成 28 年2月9日(火) 会場 衣川保健福祉センター No.2

3	<p>水沢はギャンブルの町（競馬）。若者が投資し破産したものが多いと聞く。地域をまとめ、綺麗な町、住みよい町・安心して住めるまちづくりをしてほしい。</p> <p>若柳小学校は、県内で最初にインフルエンザによる学校閉鎖になった。これは教室にぬくもりがないからだ。木造校舎はぬくもりがあり、子ども達にいい影響を与えている。子ども達にとって住みやすい地域づくりをしてほしい。</p>	<p>水沢時代は 100 億円の配当があった。しかし今やその配当を返さなければならない状況。単年度収支において、黒字化が存続の条件となっている。今すぐ廃止とはできないものと思う。まずは健全経営に務め、競馬従事者にも配慮し、継続させてきた経緯ある。</p>	回答
4	<p>空き家問題で条例というが優先順位を決めて使ってほしい。固定資産税を免除するなど田舎暮らしをもっと PR すべき。</p>	<p>空き家の再利用区分が必要。特定空き家は条例で定める必要がある。</p> <p>利用できる空き家物件が少ないが、活用にあたっては、他の事例も参考にしたい。</p>	回答
5	<p>議会の機能を十分に発揮していない。幼稚だ。自治区をなくすというが、発想の転換がない。地域の意見を聞かないというのはおかしい。</p> <p>市長は、奥州市のどこにいてもサービスというが、現実とは同じではない。</p>	<p>様々な問題については、議員間でもっと協議すべきであった。</p> <p>予算審議前に、常任委員会で事前に活動すべきと考えている。</p> <p>胆沢統合中学校問題は残念な結果になった。しかし地域では産廃の話はなかった。中心地構想もあり最終的に適地として決めた。</p>	回答

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第2班 平成28年2月9日(火) 会場 衣川保健福祉センター No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
6	<p>能動的な議会活動をしてほしい。これまで無駄な時間、経費をつかっている。むしろ事務事業に目を向けてほしい。</p> <p>自治区は廃止になるのか、延長でいいのか。</p> <p>廃止になった時はいくらかかるのか。</p> <p>少子高齢化対策、具体的なものがない。</p> <p>総合支所にも議員控室を置いて、議員も総合支所に来るべきだ。</p>	<p>このままだと3月31日で失効する。市長は1年と言っているが、1年が妥当か2年とするのか、3月定例会において、議会の意志を示さなければならない。</p> <p>廃止時の経費は22,000万円。民間分をいれるともっと費用がかかるといわれている。</p>	回答
7	<p>総合支所を維持するのに金がかかっていると思うようだが、窓口対応に職員を活用すべき。知識や経験が豊富で住民にとって若者より相談しやすい。</p> <p>また、区長の職を復活し、一定の権限をもたせるべきだ。本庁から職員が出向く方式は無駄。権限を支所に与え可能なものは支所完結方式にすべき。</p>	<p>市長は、職員を減らしてきたため、行政事務に支障がおきるので、今回再編という提案をしたわけだが、これからも、支所の大切さということを議員の中でも話し合い、支所があまり変わることなく仕事をしていくにはどうしたらいいかを市長と議論していく。</p>	回答
8	<p>万年の森を造った意味は？当初は森林公園にするはずだった。植林方法にも問題がありほとんど枯れた。だいたい青写真もない。宝の持ち腐れになっている。県内にはかなりの森林公園があるので、いい所を参考にして、地域にあったものを取り入れて成功させてほしい。</p>	<p>万年の森調査特別委員会の内容は、太陽光発電事業で市にも利益が入る話が持ち上がり、事業を進める中で、事業者の選定、万年の森に置いていた行政事務組合の最終処分場建設で発生した残土の処理など、事業の経過がよく見えないので、特別委員会を立ち上げて調査しているものだ。</p>	回答
9	<p>地域自治区を議論するにあたり、一関市、北上市、花巻市の事例も参考にすべきだ。</p>	<p>ご意見として承る。</p>	回答

第10回「市民と議員の懇談会」 第3班 報告書

1 開催月日	平成 28 年 2 月 9 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 53 分	
2 会 場	水沢地区センター 第 2 会議室	
3 参加者数	53 名 (内訳：男性 49 名 女性 4 名) [うち議員・職員 1 名]	
4 出席議員	班長 佐藤 邦夫 議員 進行係 内田 和良 議員 説明係 今野 裕文 議員 記録係 菅原 由和 議員 鈴木 雅彦 議員 受付係 菅原 由和 議員 鈴木 雅彦 議員	
5 欠席議員	なし	

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

..... テーマの内容が、市民の関心が大きいものであり、多くの参加があり、活発な意見が交わされたと思う。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

地域自治区

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:水沢地区センター

No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>合併して 10 年となるが、当初計画とすれば今の自治区は廃止され、新しいまちづくりに向かっていくと認識している。</p> <p>しかし、今の自治区が廃止されれば、どのような統制をもって、誰がどうしていくのか。逆に地域住民はどう提言をしていくのかが、具体的にイメージできない。</p>	<p>市長提案では、地域の要望などは地区センターで取りまとめ、市と地区センター間でやっていくとのこと。30 の地区センターをあじさいの花びらに例えて、全市的な一つの大きな花をつくりたいという考え方である。</p>	
2	<p>地域自治区の問題は、27 年 1 月 20 日に議会に対して説明があったとのことだが、10 年後には自治区廃止ということは分かっていたこと。市長側からの提案にしても、議員からの発言にしても、10 年の期限をターゲットとしてもっと前から進めるべきで、遅きに失したのではないか。</p> <p>私は、早く一つになった方が良いという考えである。</p>	<p>必ずしも 10 年で廃止との認識ではない議員もいる。合併協議会では 10 年とあるが、設定した時点では自動的に延長されるものと認識していた議員も多かったのではないか。合併協議の意思をそれぞれの議員がどのように認識していたかということだと思う。</p> <p>自治区については、及川善男議員、佐藤郁夫議員が 2 年ほど前から取り上げてきている。当初市長は、自治区は廃止しないという考えであったが、27 年 1 月に廃止提案がされ戸惑った。</p>	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

地域自治区

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:水沢地区センター

No. 2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
3	<p>自治区廃止後は、市民の声を地区センターで取りまとめるとの話しもあるが、地区センターが指定管理を受ける際にそのような説明はされていないと認識している。</p> <p>地区センターの指定管理は、市内全地区一斉ではなくバラバラな状況の中で本当にうまくいくのか。</p> <p>9 月、12 月議会で指定管理者の指定を議決しているが、どのような運営をしていくのかを議員はしっかりと認識しているのか。</p>	<p>地区振興会は任意団体であり、住民の意見の吸い上げや、住民に指示を出したりすることは難しいと個人的に認識している。</p> <p>また、地区センターにより大きな差がでてきて、衰退する地域も出てくるのではないかと危惧しており、課題があるのではないか。</p>	
4	<p>自治区廃止に伴い、地区センターが担っていく役割もあるようだが、地区センターの指定管理者制度導入による活動範囲をしっかりと議員にも認識してもらいたい。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
5	<p>10 年前にこのような懇談会はやってこなかった。合併する前からこのような懇談会をやってくれば、今のような混乱は起きなかったのではないか。</p>	<p>程度の差はあるかもしれないが、それぞれの旧市町村議会では議論されてきている。</p>	
6	<p>旧衣川村と比較すれば、旧佐倉河村や真城村の方が大きい。衣川を区にするのであれば旧の村単位に区を設置しなければならず、今の区自体が平等になっていない。</p>	<p>上越市ではもともと自治区はなかったが、合併したことにより、大きな町をさらに分けて区にしたりしている。今後の議論の中ではそのような考え方もあり、地方自治法に基づき設置する選択肢もあるのではないか。</p>	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

地域自治区

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:水沢地区センター

No. 3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	花巻市や一関市の自治区の状況はどうなっているのか。 問題は起きていないのか。	花巻市は継続、一関市は廃止している。	
8	地域自治区は「住民自治の強化」や「行政と住民の協働の推進」などを目的に設置したとあるが、この 10 年間でその目的が達成されたのか。達成されたのであれば廃止もやむを得ない。しかし、各地域から陳情や意見が出されているのが答えであり、住民にその実感がないのではないのか。 そういう所を市民にも見える形にしていけば、地域自治区の廃止や地区センターの指定管理者制度も納得出来るのではないのか。	行政側の検証とともに市民側の意見も吸い上げ、お互いの 10 年間の総括をして市民にお示しをし、その総括をもって判断していくことも必要ではないか。 地域協議会によっては、10 年間の検証をしているところもある。	
9	自治区を残して地域を活性化させようとしてきたが変わらない。この先残してもどうなるのか。 また、各区の独自性を活かそうとして自治区を残したこともあると思うが、一体感の醸成にはなっていない。この間、行事関係もそれぞれの旧市町村単位でやっており、このままではいつまでたっても一体感には繋がらない。 この 10 年間一体感をつくる努力をしてきたのか。その辺も整理せずに話しは進まないのではないのか。	10 年間で一気に一体感を醸成していくことは難しいかもしれない。今、徐々に住民自治が芽生えてきており、少し時間をかけていくことも必要ではないか。	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

地域自治区

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:真城地区センター

No. 4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
10	<p>10 年前に合併したのだから、合併の大義に基づき自治区も当初の制度に沿った形で進めて行くべきだと思う。</p> <p>議論していることはいいが、考え方がぶつかる中で、思考停止しているような感じで時間を過ごしているのではないか。</p> <p>今後、きめ細かい情勢は必要だと思うが限界はある。必要であれば、地区センターの連合会のような形で意見を出してもらおうことも出来るのではないか。</p>	意見として伺う。	
11	<p>地区センターの指定管理は、きめ細やかな住民サービスを謳い文句にしているが、反面、行革の視点があると思う。議員は、出身区のことを重点に考えることは当然だと思うが、奥州市全体の観点で考えて欲しい。</p>	意見として伺う。	
12	<p>地域自治区廃止や地区センターの指定管理は、行財政改革がメインであると考え。地区センターの指定管理者制度により、現在の地区センターや振興会組織が良くなることだが、そういう思いではなく、今の地区センター運営を維持するということを受けていると思う。</p> <p>自治区が廃止された後、地区センターをより緊密に運営し、市政に反映していくということは難しいのではないか。</p>	意見として伺う。	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

地域自治区

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:水沢地区センター

No. 5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
13	地域協議会は現在も全区にあるのか。地域自治区との関係は。	地域自治区と地域協議会の概要について説明。	
14	市の一体感については、自治区の有る無しではなく、行政が一体感を促すような行政運営をしてこなかったことが原因であると考える。	意見として伺う。	
15	<p>地域自治区が廃止されれば、意見をどのような場で話しをすればいいのか。パイプが一つでも無くなることは不安である。</p> <p>今後、人口も減り、予算もなくなるので、あれもこれもやめますでは、先行きが明るくなく益々不安になる。今後どうすれば明るくなるかを同時に示してもらわないと不安しか残らない。</p>	意見として伺う。	
16	<p>今、スポーツの分野で奥州市の一本化したイベントにしていこうという動きがでてきている。</p> <p>この他にも、これまで各地区で行われてきているイベントを奥州市のイベントとして、お互いに支援が出来るようになればいいのではないか。例えば、日高火防祭や江刺甚句祭りなどを市の祭りとして、全域で盛り上げていくことが市の活性化にも繋がるのではないか。議会でも前向きに捉え、全国や世界中から人が集まる奥州市にして欲しい。</p>	意見として伺う。	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:水沢地区センター

No. 1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>人口減少問題について、奥州市として将来の人口推定はいくらで、どのようなまちづくりをしていこうとしているのか。市として人口減少対策の課題と整理がなされているのか。</p>	<p>まち・ひと・しごと創生法に基づく、市の人口ビジョンと総合戦略の策定状況について説明。</p>	
2	<p>合併による一体感の醸成は、物事を一つにすることも一体感ではあるが、それぞれの地区がお互いを認め合うことも一体感ではないかと思っている。</p> <p>この間、祭りなども縮小され、今後何もかも無くなり益々寂れてしまうのではないかと危惧している。次世代に負担を残してはならないというのは分かるが、今、生きている人たちが活性化を促していくことも必要ではないか。</p> <p>生きがいをもって生きられる一本の柱を作っていけば、もっと明るいまちになっていくと思う。ぜひ明るい話題を提供してもらいたい。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
3	<p>人口減少対策として、逆転の発想で、市の公務員を今の 3 倍にしてはどうか。ただし給与は市内の中小企業の給与ベースにする。そして、市内のほとんどの業種を市営にしてはどうか。全国に例はほとんどないが、大分県のある町でやっており、人口の約 3 分の 2 は公務員と聞いている。年収は少ないが安心して生活ができる。</p>	<p>意見として伺う。</p>	

第 10 回「市民と議員の懇談会」概要

自由懇談

第 3 班 平成 28 年 2 月 9 日(火)会場:水沢地区センター

No. 2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
4	<p>旧東水沢中学校跡地の利用者は年間 3000 人もの利用者があるにも関わらず、行革の対象となり廃止されようとしている。市内の中心部で重要性のある土地でもあり、処分するのは簡単だと思う。しかし、将来的に何か大きな事業により必要な土地を確保しなければならないときに、その処分した費用で賄える土地が確保できるのか。簡単な発想で処分することには反対である。議員も安易に考えないで欲しい。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
5	<p>水沢地区には 5400 世帯に 31 行政区、常盤地区は 5300 世帯に 13 行政区、南地区は 5100 世帯に 17 行政区がある。この中身を良くみると、一つの行政区が 9 世帯とか、38 世帯とか、町内会の班ではないかと思うくらいの所もある。検討する必要があるのではないか。</p>	<p>取り組んでまいりたい。</p>	
6	<p>上記 5 については、行政区長会でも意見はしているが、市の担当部署の答弁では、行政区の見直しは各行政区からの発議がないと出来ないとのこと。市議会としても行政区の見直しについては強く意見をして欲しい。</p> <p>民生委員の見直しについては、数年前に全国的な見直しがあったが、行政区だけ見直しになっていない。</p>		

第10回「市民と議員の懇談会」 第4班 報告書

1 開催月日	平成 28 年 2 月 10 日 (水) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 27 分	
2 会 場	胆沢総合支所 3 階 大会議室	
3 参加者数	25 名 (内訳：男性 24 名 女性 1 名) [うち議員・職員 0 名]	
4 出席議員	班長 中 澤 俊 明 議員 進行係 佐 藤 郁 夫 議員 説明係 佐 藤 洋 議員 記録係 及 川 佐 議員 加 藤 清 議員 受付係 及 川 佐	
5 欠席議員 議員 議員	

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

..... (1) 活発な意見・論議で予定より 30 分オーバーした。.....

..... (2) 持ち時間 1 人 5 分以内としたが、オーバーした人数名有り。やむを得ないことですが、要約して発言を徹底すべきであった。1 人のひとから 5 回も発言したので、前記を徹底すべきと反省している。.....

..... (3) 各班共通だと思うが若年・中堅層を対象にしたテーマ設定を考えることが必要。.....

.....

.....

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成 28 年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>・地域自治区の問題について、本当に必要であれば2～3年前から、我々と話をするべきものと考えているが、各議員はどのような認識で議会活動をやっているのか伺う。議員の怠慢ではないか。</p>	<p>・基本的に市長から提案あったものについて、議会として の見解なり立場なり議論をされていく、その中で判断をしていくものだと考えている。この10年間で各区において いろんな諸課題を、基金を持ち込んで取り組み改善等をする 期間であったと考え、地域自治区、地域協議会は一定の 役割を果たしたものと思う。 ・合併時に10年後には自治区が廃止になるということで 進められ、2～3年前から協議するという意識はなかった。 住所表示については、「〇〇区」というのは無くていい のではないか。 ・自治区廃止に賛成。10年経って世の中は少子高齢化が 進んでおり、奥州市全体で取り組んでいく時ではないの か。市では事務事業の見直しなど必要であると考え。こ れからはオール奥州で考えていかなければならない。 ・この3月の定例会で、2年とするか1年とするかは決ま る。議会の総意は任期中ということで最大2年。この場 で皆さんのご意見を伺いながら自治区の賛否を決めたい。 2年の任期中に自治区の問題を決めましょうということ。 地域の事情を省みずに振興会30を直接効率的になろうと するのはかなり無理があると思う。</p>	
2	<p>・過日、市民クラブで小山地区センターを会場に懇談会をやっている。今回市民と議員の懇談会をやるというのに、市民クラブは抜け駆けしたような形で同じことをやっている。</p>	<p>・基本的には市長が提案して、それに対して議会が同判断 していくかということ。議員個々の考えはあるが、皆さん の意見を聞くことが重要。市民クラブではH27.5.23に南 都田で地域自治区問題を考える懇談会 H28.1.26に小山地 区で実施した。また江刺の議員7人で江刺区では何回もや っている。市民がどういう考えかを掴むべきだというふう に思って実施した。なぜ今かということだが、以前から取 り組んできている。平成24年12月議会でこの件につい て一般質問をした。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成28年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
3	<p>・新しい市になって、昔からの既存の組織、それをいつまでも引きずっていることは、その組織自体が無理を言っていると思う。新しい組織の中で新しい体制を考えていくことがベストではないか。ベストでない諸課題は議員が対応すべきであって、議員が自分たちの活動を忘れている。</p>	<p>・要望として承る。</p>	
4	<p>・合併のときに地域協議会が作られたということは、その時点で、将来10年後に廃止になる前提のもとに作られているのか。</p>	<p>・そのとおり。</p>	
5	<p>・歴代の議員含めて行政と議員の対話が不足している。地元の議員は何をやっているのか。胆沢区では議員の報告会など聞いたことはない。胆沢町時代は人材育成に力を入れて、いろんなことをやってきたが、奥州市ではやっていない。地域協議会のメリットデメリットを明示して、これからどういう方向でいくかを示すべきだ。</p>	<p>・地域協議会では、各区の事業計画や事業実施等を決めている。またその取り組み状況を確認したりしている。この10年間は合併に対して大事な協議会のあり方だったと思う。意見として承る。</p>	
6	<p>・合併当初、10年後には廃止すると。今になってこういう話は奇怪しい。区を廃止するに当たって、2600万円掛かるということだが、それだけで済むものなのか。これは市民の負担になるのだが、土地開発公社の100億円も市民の負担。3月に決めないで、議員若しくは住民が参加して十分に検討しながら決めるべき問題ではないか。</p>	<p>・2600万円は市のシステム改修に掛かる分の経費。それに看板の書換等は別に経費が掛かる。また市では民間企業等については、全部調べていない。大きな企業ではパンフレット、封筒やシステム変更等で約1千万円掛かるとの説明はあった。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成28年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
7	<p>・民意というのを議員はどのように考えるか。10年前の合併協議会で協議し議会で議決したもの。最大の場所で総合的な意見を出して決定した民意というものを、今更1年延ばすとか任期中にやるとか、そういうふうな事態でいいのか。会社などでは事業計画で10年後には地域自治区がなくなると検討されている方もいる。議員も民意を大事に考えてほしい。</p>	<p>・合併協議書には書かれていない。意見が分かれるところ。合併協議においてはその先まで議論されていない。</p>	
8	<p>・合併特例法に基づく地域自治区は10年で終わるとあるが。</p>	<p>・合併特例法に基づく地域自治区は終わるが、自治法に基づく自治区は別。</p>	
9	<p>・合併特例法に基づく自治区は3月31日で廃止される。それ以降は例えば合併特例法でない自治区に決まるというけれど、もっと前に決めて4月1日からキチンと進めていくようにしてもらわないと困る。</p>	<p>・本当は最低でも1年前。他市では2年くらい掛けている。全くその通りだと思う。意見として承る。</p>	
10	<p>合併時点では各区に難しい課題がいっぱいあった。当時の議員が誠心誠意議論して、ここに書いてある3月31日までという大筋の約束で進めてきた。今ここに至って、市民の意見を聞くということだが、もう10年前に我々の選んだ議員さん方が、議論して協議して大筋の約束を作った。約束を守るのも議員の役目だと思う。今の市長は100点満点ではない、色々な問題を抱えているが、問題解決と議員が今やっていることが、何か絡めて複雑化している。当面の課題と切り離して考えるべき。新聞報道によると合併なってから、例えば市の幹部をした方が辞めた途端に変な旗振りをして、陳情をいっぱい出している。</p>	<p>・意見として承る。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4 班 平成 28 年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
11	<p>・過去の話ばかりしてはだめ。前向きにいかねければ。これから1年なり2年なり何していくかを議論しなければならない。皆の意見を吸い上げる体制を作ることが大事。</p>	<p>・意見として承る。</p>	
12	<p>・1年間の延長に賛成である。前沢から陳情が出たのかというと、胆沢との格差が大きい。道路行政、福祉、教育にしても胆沢の方がすばらしい。市長の市政運営も格差のないようにして欲しい。</p>	<p>・意見として承る。</p>	
13	<p>・市の提案しているのは「区」だけを取るということ。オール奥州でやるのであれば「〇〇区」の3文字を取ってしまう議論をした方がいい。少しずついいから変えていかなければ若い人たちは会話に入っこれない。</p>	<p>・意見として承る。</p>	
14	<p>・懇談会などで反対する人は年寄り。議員に高校生とか成人式に参加した人たちの意見をどう聞いているか聞いてみたらやっていないという回答だった。意見を聞く年齢層の偏った固まりから意見を聞いている。行政改革をして行政をうまくいくようにするにはどうしたらいいかを聞くようなことを聞いて欲しい。もう少しお互いスピードを上げて、簡素にして行政がうまくいく方法をお互い考えるようにして欲しい。若い人たちの意見を聞く機会を特別に作っていただきたい。</p>	<p>・過半消防団の方々と懇談会を行なった。比較的若い方々が参加して有意義だった。指摘されたことは議会としても前向きに取り組んでいきたい。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成 28 年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.5

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
15	<p>・胆沢区の地域協議会は年4回開催している。市長が言う30地区センターの形になると、地域横断的な問題を協議できるのだろうかというのが気になる。指定管理者制度の問題で揉めているところもある。地区センターや振興会が今までの地域協議会に変わるようなことが出来るようなシステムになっているのか。一気に問題を解決できる条件は今はないと思う。</p>	<p>・意見として承る。</p>	
16	<p>・市長と議会の対立は好ましくない。市民としては未来を検討する議論をして欲しい。自治区の問題は合併協議の段階で廃止と決定されているので終了。少子化や人口減少、部落の係のなり手が居ないなどを考えると、今の奥州市の行政課題が区の廃止問題とかではないのではないか。地域の問題は30の地区センターを中心にやってもらえれば良いと思う。前に進むエネルギーを市側と市議会が力を併せて未来に希望の持てるような新聞記事が出ることを願います。</p>	<p>・要望として承る。</p>	
17	<p>・市側の情報がローカル新聞にしか出てこないのは問題ではないか。市の広報にはこの問題が取り上げられていないのは怠慢である。</p>	<p>・要望として承る。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成 28 年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.6

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
18	<p>・昨年3月24日の定例会で地域自治区存続に係わる陳情を賛成多数で採択とある。自治区の問題はここから始まった。6月の要望書も賛成多数で可決。6月23日の自治区廃止に伴う関連議案を否決。全て市長が提案するべきことが、議場で議員が議論する前に請願というものを先に審議して採択。そうすると市側が出そうとする議案を引っ込めたり修正動議をしたり、全然皆一緒になって市当局と議員が議論を交わすという雰囲気が見えない。請願を先に採択することが奇かしいんじゃないか。3月の請願、未だ皆の意見を聞いていないのであれば保留なりにすべきではなかったか。今の状態は先に請願が出てきて、当局側が引っ込めるというやり方は奇かしいのではないか。</p>	<p>・意見として承る。</p>	
19	<p>・焼石マラソン大会が終わった。今度は「きらめきマラソン」が前沢スタートで江刺まで行くコースになる。体育協会で検討したようだが、胆沢の委員の力が足りなかったようだ。胆沢の祭りが全然無くなっている。山開きが無くなり、夏祭も合併してなくなり、農はだては継続して欲しいが。前沢では春祭から牛まつり、夏祭の花火とかいっぱいありエネルギーがある。活性化のためにまつりが無くなるのは残念である。</p>	<p>・要望として承る。</p>	
20	<p>・議員は今以上に活躍してもらいたい。議会だより先進地視察に行ってきたという報告はあるが、見てきた結果こうしたいというのが欲しい。それに議員の議論の記事が足りないんじゃないか。</p>	<p>・要望として承る。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第4班 平成28年2月10日(水) 会場 胆沢総合支所 No.7

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
21	<p>・万年の森100条委員会で、新聞報道では企業がプロポーザルで出した資料を議会側で見たいということで請求したが、企業側は提出するときに公表しないという約束でプロポーザルに参加している。それを無理やり出してそこで結論を出すよということのようだが、早く進めないと企業側も市側も困るのではないか。</p>	<p>・事業者の提案書を見せてくれないかということは、どうして今の事業者に決まったのということは評価の基準なりから出てきている話である。賃料をいただくに当たって事業者や事業内容をどうやって決めたかということ。基本協定の中に記載されているものなので、出せないのかというもの。スピードを図りながら進めていきたいと考えている。</p>	
22	<p>・地元にも似たような問題を抱えている。胆沢統合中学校の廃棄物処理についてどのように考えているのか。</p>	<p>・議会には説明はされたが、住民訴訟の問題である。</p>	
23	<p>・ILCの誘致運動を展開しているようだが、財政難の学術研究都市を作るという構想で運動展開するのであれば、平行して博物館を造るべきではないか。市の品格の判断は図書館と思っている。</p>	<p>・要望として承る。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成28年2月10日(水) 会場 前沢総合支所 401 大会議室 No.1

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
1	<p>・懇談会開催時間は、現職の市民が参加できる時間帯で開催をお願いしたい。</p> <p>・市の合併理念＝キャッチフレーズとは、「地域の個性が光り輝く奥州市」だと思いがいかか。</p> <p>・市内は「地域自治区」でもめている。このような時に大事な案件を決めるのは無理と思う。次期改選期まで延ばして決めるべきである。</p>	<p>「誰もが安心して暮らせるまち」であると思われ、各旧市町村の特徴が出ている。課題が数多いが、任期内に解決していかなければならないと思っている。今日の意見を持ち帰り、議員間で協議していきたい。</p>	
2	<p>記者会見で市長は、延長は1年と一方的に述べている。拙速ではなく慎重に進めるべき。この懇談会は市民の意見を聞いてもらえる大事な懇談会だと思っている。議員の正しい方向性を求める。</p>		
3	<p>サービスは高い方に、負担は低い方という合併時に言われたことは、この10年それを忘れたかのように市政が執行されたように見え、これらを忘れてこのような大きな溝が出来たことは残念である。溝が深いのは、議会も含め一体感の状況を自ら壊してしまったと思う。周辺部の方への配慮が足りない。</p>		
4	<p>地域自治区存廃の可否は、判断できない。</p> <p>行財政改革をやるメリットは賛成派の議員に聞いてもはっきりしない。反対派は根底にある不信感から出発している。不信の払拭の努力が市長を含めて足りないと思う。不信の払拭を早くするべきである。</p> <p>反対するもう一つの原因は不安がある。原点に戻って意見をぶつけるべきである。本当に市民サービスは大丈夫なのか。具体的に市民に分かるQ&Aを作ってほしい。</p>	<p>この問題の出発点は、期限が間近で急ぎすぎた合併にあると思う。不信、不安から出発しているので、これを心して発言、話し合いを続けていきたい。</p>	

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成28年2月10日(水) 会場 前沢総合支所 401 大会議室 No.2

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
5	合併時の財政シュミレーションは、負の財産によって破綻し、絵に描いた餅ではないのか。どこに原因があったのか。合併して10年だが、奥州市は道半ばだと思う。支所機能に対する新たな地方交付税措置が行われている。地域自治区設置、地域協議会の存続、総合支所の充実、市民には不都合はない。地域の声を出来るだけ行政に反映する仕組みを作してほしい。		
6	以前、適切な支所の職員数はどれくらいかと質問したことがある。この10年間、議員も一般質問で取り上げていて市長答弁しているが、それに対して議会はどのようにフォローしているのか見えない。その後の議会でも取り上げてほしい。	大型合併して成功している市は周辺地域を大切にしている。 ご指摘のとおり追跡はしなければならない。 今後の懇談会報告会でも話していきたい。	
7	図書館に合併時、合併協議会で協議した会議録や資料が何もないのはなぜか。転入してきた市民には不親切である。資料がないからどんなことをやってきたのか何も分からないし、分からないから話せない。図書館には会議録などの資料は残しておくべきである。	当局に確認し、要望していきたい。	
8	地域自治区の期限を切らない延長を望む。自治区をなくす説明は全く分からない。行政、民間も大きな負担がある。 水沢区・胆沢区ではどの程度自治区をなくすのに賛成されているのか。	胆沢区ではあまり残したいという声はあまり聞こえてこないと感じている。 水沢区の市民はあまり関心がない。例えではあるが、「水沢病院」などがなくなるのなら動き出さだろう。	
9	水沢区、胆沢区の人たちは、「地域自治区」がなくなっても不便を感じない。		

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成28年2月10日(水) 会場 前沢総合支所 401 大会議室 No.3

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
10	<p>地方自治法に基づく地域自治区を残してほしい。 今後30地区センターが指定管理になる。地域自治組織による地区センターの指定管理が成功するためにも、地域の代表である地域協議会やよりどころである総合支所を残してほしい。何年か指定管理をやってみて、そして評価をして、必要ない時点でやめればいい話と思う。</p>		
11	<p>自治区の存廃について、残した時、残さない時のメリット、デメリットが分からなく判断できない。 平成28年度から都市計画の見直しが入ると聞いている。審議会などに提案する前に、若い人の意見などを聞きながら作る、それぞれの地域の人が入っていけるような、そういうようなことを残していかないと、意味のない都市計画になるのではと危惧している。</p>		
12	<p>水沢はどっちに転んでも損はない。我々は負担を感じている。</p>		
13	<p>地域自治区廃止に反対。 奥州市は高齢者に厳しい市政である。支所に行くだけでほとんどの用事が済むようにしてほしい。 高齢者、子ども、女性にやさしいまちづくりをしてほしい。</p>		
14	<p>2、3年前都市計画のパブリックコメントに投稿したが、回答をもらえなかった。以前提言したのは、水沢江刺駅周辺に研究学園都市を作るべきということ。新幹線駅周辺にあれだけの土地があるのは奥州市のみ。研究者は車ではなく新幹線で移動するので、研究施設などがあれば集まってくる。そういうメリットが</p>		

第10回「市民と議員の懇談会」概要 第5班 平成28年2月10日(水) 会場 前沢総合支所 401 大会議室 No.4

No.	質問・意見・提言等	回答（説明）	処理（調査、回答等）
	あるまちなのでそれを活かす政策をやっていただきたい。 水沢江刺駅の窓ガラスの汚れが多い。国体やI L Cなどのお客様に良いイメージを与えるためにも対策をするべき。	伝えます。	
15	この懇談会で、議員はテーブル付きで市民はイスだけ。これはおかしい。 人と人のつながりを大切にし、もっとよい地域にしていきたい。		
16	（大型合併市町村）総合支所維持のための交付金が県の新聞発表で1,128百万円来ている。これを活用すべきである。		
17	市長は、地域自治区の存在が市政発展の妨げになっているというが、この10年間どのような妨げになったのかその例は何か聞きたい。地域の声を大切にしながらそれを最大限集約し、市政発展に資することこそ行政の責務と思う。		
18	議会で3回も否決されたのに、いつまで続けるのか。地方自治法に基づく地域自治区を恒久的に作ってほしい。 合併時に、前沢・胆沢・衣川の人たちが総合支所方式を要望した。行革を進めるために本庁方式を言っているが、行革は政策ではなく手段である。		
19	100条委員会、訴訟など不名誉続きで悲しいことだ。		

2016 奥州市議会

～議員26名が5班に分かれ、各会場を担当します～

市民と議員の懇談会

奥州市議会は、平成21年9月制定した「議会基本条例」に基づき、「市民の意見を市政に反映させる」「しっかりと討議する議会」「市民に開かれた議会を目指す」を議会活動の3つの柱とし活動しております。

この市民と議員の懇談会は、市民が議会を身近に感じてもらうために開催しているもので今回で10回目の開催となります。

当日は次の内容により開催しますので、多くの皆さんの参加と貴重なご意見・ご提言をお待ちしております。

～どなたでも、好きな会場に参加できます～

懇談テーマ

「地域自治区について」



- ・12月定例会の報告
- ・議会に対する意見要望、地域における諸課題等

月日	時間	班	会場
2月9日 (火)	14:00 ～ 16:00	1	江刺総合支所1階 多目的ホール
		2	衣川保健福祉センター 多目的ホール
		3	水沢地区センター 第1・2会議室
2月10日 (水)		4	胆沢総合支所3階 大会議室
		5	前沢総合支所4階 401大会議室



昨年十一月に開催した様子



主催：奥州市議会市政調査会

問合せ：奥州市議会事務局 [電話24-2111(内線612)]

↓ 班編成

【1班】 ・2/9(火) 江刺総合支所



菊池利美(水沢区) 飯坂一也(前沢区) 高橋政一(胆沢区) 中西秀俊(江刺区) 及川善男(水沢区)

【2班】 ・2/9(火) 衣川保健福祉センター



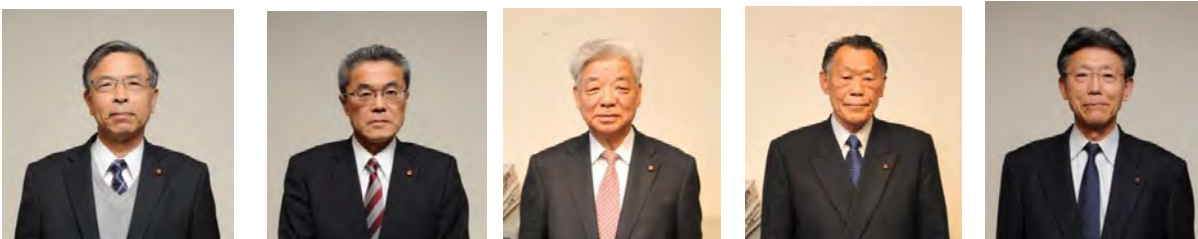
野富男(江刺区) 千葉正文(水沢区) 阿部加代子(水沢区) 小野寺隆夫(胆沢区) 菅原明(衣川区) 小野寺重(前沢区)

【3班】 ・2/9(火) 水沢地区センター



鈴木雅彦(前沢区) 菅原由和(水沢区) 今野裕文(胆沢区) 佐藤邦夫(江刺区) 内田和良(水沢区)

【4班】 ・2/10(水) 胆沢総合支所



及川佐(江刺区) 佐藤洋(水沢区) 佐藤郁夫(江刺区) 加藤清(胆沢区) 中澤俊明(水沢区)

【5班】 ・2/10(水) 前沢総合支所



千葉敦(江刺区) 菅原圭子(前沢区) 千葉悟郎(水沢区) 藤田慶則(胆沢区) 渡辺忠(胆沢区)